







アルツハイマー型認知症(AD)

- ●世間で言われている「認知症」は、ほとんどADのこと
- ●最も多い認知症疾患(50~70%)
- ●「もの忘れ」が病像の中心
- ●困った症状(BPSD)は中期に多い
 - ✓ 物盗られ妄想 など



かわさき記念病院

脳血管性認知症(VaD)

- ●脳卒中発作後に認知機能低下する場合.
- ●「もの忘れ」で発症し、徐々に進行するタイプがある.
- ●早期に歩行障害(すり足歩行) や尿失禁がみられやすい。



レビー小体型認知症(DLB)

- ●1次性認知症では2番目に多い疾患(15~20%)
- ◆リアルな幻視
- ◆パーキンソン症状(動作緩慢,繰り返す転倒)
- ◆認知の変動(「しっかり」と「ボンヤリ」)
- ◆大声の寝言(REM睡眠行動異常症)
- ●薬に過敏



前頭側頭型認知症(FTD)

- ●ADに比べ、10年程度若い(50~60台)
- ●「もの忘れ」は目立たないが、性格や行動の変化、 言語障害などで始まる
- ●「人の意見を気にせず, 自分勝手な行動をする」
- ▶ 天気に関係なく繰り返し散歩に行く
- ▶ お金を払わず店の商品を持ち帰る
- ▶ 異性の体を触る
- ▶ 甘いものばかり食べる
- 時間にこだわる

長濱康弘, 泌尿器ケア16,2011



かわさき記念病

認知症はずっと前から発症している!?

【軽度認知障害: MCI】

生活に障害があるほどではないが、加齢では片づけられない年相応 以上の物忘れがある。



認知症の診断がされる程度まで進行するのに 5~10年(平均6~7年)

さらに、近年ではそのさらに以前から発症してきていると考えられている

かわさき記念機能

認知症になりやすい人ってどんな人?

- 逆に、認知症にならない人ってどんな人?
- 代表的な認知症は全て「神経難病」:予防法はない
- 歳を取ればとるほど発症確率は高くなる
- 「この人は絶対認知症にならない」ということはあり得ない

明日は我が身

だからこそ「認知症になっても困らない社会」を。

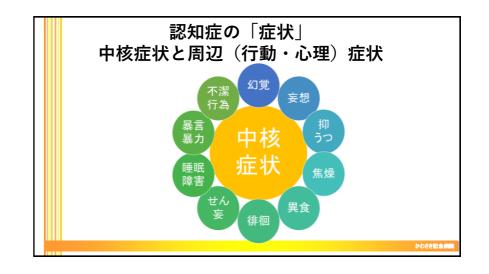
認知症ってどんな病気ですか?

「認知症」は病状や状態を表す言葉です。認知症状態をきたす病気には色々あります。

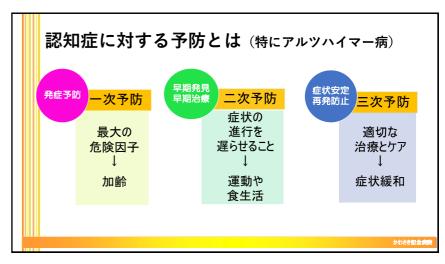
「認知症」状態とは、いったん正常に発達した知的機能が徐々に低下し、生活に支障をきたすほどになった場合をいいます。「せん妄」と呼ばれるような一時的な意識障害は認知症に含みません。

認知症は病気であり、

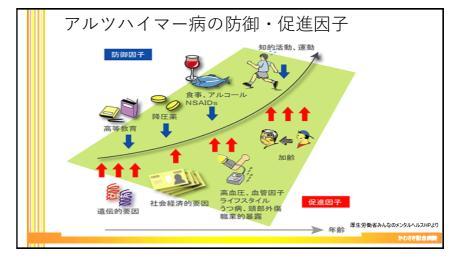
決して「年のせい」ではありません。

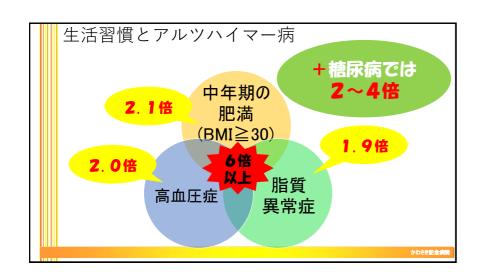


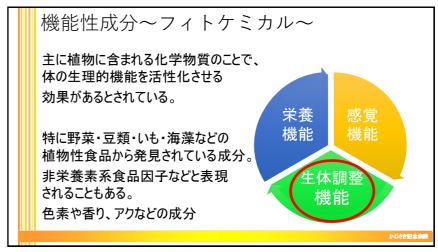


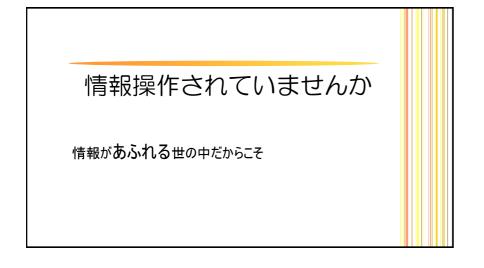


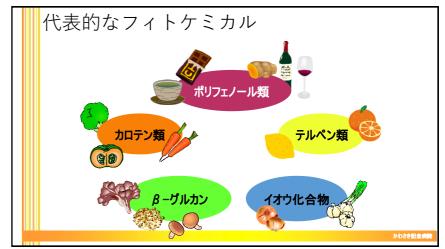




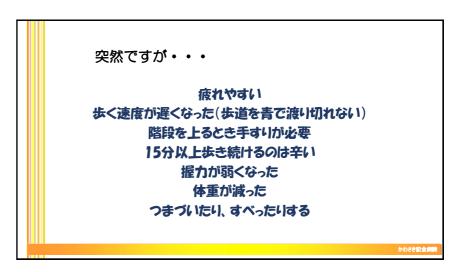












バランスのいい食生活が大切。 何かだけやサプリメントだけで 予防できることはありません。 認知症は様々なことが重なり合って発症します。 いまだに発症機序については分からないことも多くあります。 つまり、予防に関しても、はっきりした根拠がないのも事実。 だからこそ、偏らない食生活が大切です。また、食事だけに頼らないことも大切です。

